

災害時におけるペットとの同行避難

「ペットの命は飼い主が守る。」



【ペット同行避難とは】

災害時にペットと一緒に避難所に避難することをいいます。環境省のガイドラインで「ペットを飼っている方は、災害時にはペットと同行避難することが基本」と示されています。

避難所は多くの方が共同生活を行うため、ペットを苦手とする方やアレルギーのある方への配慮のために避難所内へのペット受け入れは行わず、屋外で管理することになります。

備え

避難所生活でペットの飼育に必要なものは、飼い主の方に用意していただくことになっています。数日分のフードや水、ケージやトイレ用品などペットに必要なものは普段から準備しておきましょう。また、基本的なしつけや健康管理を日ごろから行い、人とペットが安全に避難し、避難所で周りの避難者への迷惑をかけずに共同生活を行えるようにしましょう。

問い合わせ先：総務課 防災交通室 ☎85-3080

令和3年度町体育協会表彰

受賞おめでとうございます

地域のスポーツ振興に貢献した6個人・4団体を表彰し、賞状楯を贈呈しました。受賞者は次の通りです。(敬称略)

【体育功労者】

福田博亮（白老歩くスキー同好会）

【スポーツ奨励賞・団体】

北海道栄高校 陸上競技部男子 4×100m R チーム

同 4×400m R チーム

同女子 4×100m R チーム

相撲部

【同賞・個人】

エケ・ジュニア瑠音（北海道栄高校陸上競技部）、清水徹（同）、内田勘太（同）、納村琉愛（同）、高橋良汰（北海道栄高校水泳部）



問い合わせ先：体育協会 ☎82-6041

知っておこう アイヌ文化

カムイ

イランカラプテ。アイヌ民族は、火や水、動物や植物などの他、白や舟など、人間が生きていく上で必要なもの、さらには病気など人間にはどうすることもできないものをカムイと呼び、敬ったと言います。

しかし、お店では多くのものを買うことができ、多くの病気を治すことができる現代社会では、カムイの存在を身近に感じ取り、アイヌ民族の精神世界を深く理解するきっかけを得ることは少ないように思います。

このことから、カムイの存在について考えてもらう機会にするため、しらおいイオル事務所チキサニでは、毎年10月下旬に川のイオル「川漁体験」を開催し、多くの方々にご参加を頂いています。

「川漁体験」では、ウヨロ川に遡上してきたサケをアイヌ民族の伝統漁具、マレクで釣り上げた後、イサパキクニという特別な棒で頭を叩き捕獲します。この捕獲方法には、カムイの世界から私たちの世界へと来訪したサケに対する感謝と、翌年の再来への願いが込められており、サケの魂はその気持ちを受け、イサパキクニをお土産としてカムイの世界へ持ち帰ると言われています。

カムイからの贈り物であるサケの魚体は、身だけでなく皮も含めて余すことなく大切に利用させていただくという一連の体験を通して、カムイとアイヌがお互いを補完し合うというアイヌ民族の精神世界を垣間見ることができます。



伝統漁具マレクでサケを釣り上げる小学生ら

政策推進課 アイヌ政策推進室 学芸員 森洋輔

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301